

国 平成三十年度 入学試験問題

平成三十年二月三日午前実施

東京女学館中学校

国語 解答用紙
(字数制限のある場合、句読点・カッコなどはすべて字数に数えます。)

一 問一 ウ 問二(1) わざと手をぬいて章くんに負けたこと。

問二(2) イ 問三 鼻

問四 章くんへの不満を言葉や態度に出すこと。

問五 I エ II ア 問六 ウ 問七 イ

問八(1) よこ (2) ア 問九 イ 問十 エ

問十一 (例) 実力が認められたい、以前に
 言う後悔、これが章くんとの最後の夏だとい
 う言いようのないいささかの混じった痛み。

二 問一 A イ B ウ C ア D イ

問二 人間は 対象と自分を分けて認識しているから。

問三 世界と自分との間のズレを埋めたいから。

問四 イ オ 問五 ウ 問六 若さ 問七 エ

問八 考えること、単なる好き嫌いの感覚から距離を置くこと。

問九 全体を見ると同時にどこか一点を見ること。

問十 イ エ

9	5	1
際限	格式	印刷
10	6	2
操作	看護	著名
	7	3
	漁船	痛快
	8	4
	険しい	訪問

評点

受験番号

氏名